

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-299456

(P2001-299456A)

(43)公開日 平成13年10月30日(2001.10.30)

(51)IntCl⁷

A 4 7 B 3/00

識別記号

F I

A 4 7 B 3/00

キーワード(参考)

A

B

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2000-159122(P2000-159122)

(22)出願日 平成12年4月21日(2000.4.21)

(71)出願人 500247312

武内 かほる

東京都渋谷区恵比寿1丁目30番12-808号

(72)発明者 武内 かほる

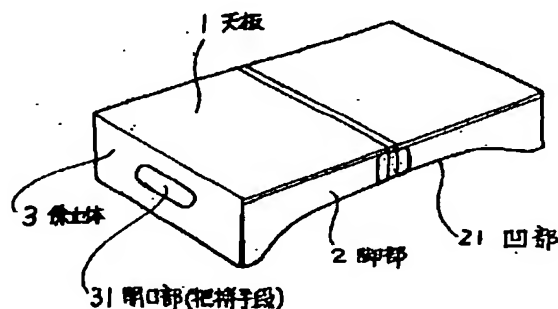
東京都渋谷区恵比寿1丁目30番12-808号

(54)【発明の名称】 テーブル

(57)【要約】

【課題】 小さく折り畳んで携帯でき、簡単に組み立てて使用できるテーブルを提供する。

【解決手段】 天板1の相対する2側部に板状の脚部2が垂下されており、その脚部2の下縁部には凹部21が設けられ、その凹部21が大腿に嵌合するようになされている。また、天板1の相対する2端部には板状の係止体3が垂下されており、その係止体3の側面中央部には天板1の端部にそった長孔からなる開口部(把持部)31が設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 天板の1側部又は相対する2側部に脚部が垂下されており、その脚部の下縁部に凹部が設けられ、その凹部が大腿に嵌合するようになされていることを特徴とするテーブル。

【請求項2】 前記脚部が天板の少なくとも片面に向けて折り畳み可能となされており、前記天板の2端部に前記脚部の係止体が設けられており、その係止体が前記天板と略面一となるように伸展可能となされ、その係止体に把持手段が設けられていることを特徴とする請求項1記載のテーブル。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、テーブルとその製造方法に関し、詳述すれば、携帯に便利なテーブルとその製造方法に係わるものである。

【0002】

【従来の技術】従来、野球観戦や観劇の際、座席にテーブルが備えられていない場合、大腿の上に直接弁当やプログラム等を乗せるため、不安定であった。特に弁当とお茶というように2個以上の物を大腿の上に置くのは非常に困難であった。また、以上の不便を解消するためにテーブルを持ち運ぶことは非現実的なことであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述のような問題点を解決するために、小さく折り畳んで携帯でき、簡単に組み立てて使用できるテーブルを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため請求項1記載の発明は、天板の1側部又は相対する2側部に脚部が垂下されており、その脚部の下縁部に凹部が設けられ、その凹部が大腿に嵌合するようになされていることを特徴とするテーブルである。

【0005】本発明の脚部の凹部は、椅子等に座った人の大腿部の幅に合わせて長円弧状にするとテーブルの安定性がよいので好ましい。また、脚部は天板の1側部にだけ設けて、大腿部の角度を修正して天板を水平に保つようになされてもよい。また、2側部に高さの異なる脚部を設けて、大腿部の角度を修正して天板を水平に保つようになされてもよい。

【0006】また、請求項2記載の発明は、請求項1において、前記脚部が天板の少なくとも片面に向けて折り畳み可能となされており、前記天板の2端部に前記脚部の係止体が設けられており、その係止体が前記天板と略面一となるように伸展可能となされ、その係止体に把持手段が設けられていることを特徴とするテーブルである。

【0007】本発明の脚部と係止体との係止手段としては、マジックテープやボタン等を用いると、テーブルを

簡単に組み立てることができるので好ましい。また、天板は中央から二つに折り畳むことができるようにしておくと、テーブルを運搬・保管する時に小さく折り畳むことができるので好ましい。また、係止体の把持手段としては、把手を別途設けてもよいし、係止体に開口部を設けてもよい。

【0008】本発明のテーブルは、段ボール紙や中空部を有する合成樹脂板等で形成すると、軽量で安価なので好ましい。

10 【0009】また、本発明のテーブルは、1枚の板状体から、天板とその天板の1側部又は2側部の下縁部に凹部を有する脚部やその天板の2端部の係止体の一体的な打ち抜きや、係止体に把持手段となる開口部の打ち抜き等を1工程で行うと製造効率がよく効果的である。

【00010】また、片面に粘着剤や接着剤を塗布した柔軟なシートの所定の位置に、天板や脚部や係止体等を粘着又は接着することにより本発明のテーブルを形成すると、脚部や係止体の折り畳み構造を簡単にできるので好ましい。

20 【作用】請求項1記載の発明のテーブルにおいては、天板の1側部又は相対する2側部に脚部が垂下されており、その脚部の下縁部に凹部が設けられ、その凹部が大腿に嵌合するようになされている。従って、専用テーブルの備えられていない椅子であっても、弁当やプログラム等を本発明のテーブルの上で安定して使用することができる。特に弁当とお茶というように2個以上の物を、本発明のテーブルにより安定して使用することができる。

30 【00011】請求項2記載の発明のテーブルにおいては、脚部が天板の少なくとも片面に向けて折り畳み可能となされており、前記天板の2端部に前記脚部の係止体が設けられており、その係止体が天板と略面一となるように伸展可能となされている。従って、脚部を折り畳み、係止体を伸展することにより保管や運搬ができる。また、係止体に把持手段が設けられている。従って、伸展した係止体の把持手段を利用して脚部を折り畳んだテーブルを容易に運搬することができる。

【00012】

40 【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を実施例にもとづき図面を参照して説明する。図1は本発明のテーブルの実施例を示す斜視図、図2は図1のテーブルの展開図、図3は図1のテーブルの折り畳み方を説明するための斜視図、図4は図3のテーブルをさらに折り畳んだ状態の斜視図、図5は図1のテーブルを折り畳んだ状態の斜視図である。

50 【00013】図1において、天板1の相対する2側部に板状の脚部2が垂下されており、その脚部2の下縁部に凹部21が設けられ、その凹部21が大腿に嵌合するようになされている。また、天板1の相対する2端部には、板状の係止体3が垂下されており、その係止体3の

側面中央部には天板1の端部に沿った長孔からなる開口部(把持手段)31が設けられている。

【00014】図2において、1枚の段ボール板から、天板1と脚部2、2と係止体3、3とが切り抜かれている。天板1は、中央部から折り畳めるように、折り曲げ線(型押し溝等)11が入れている。また、脚部2と天板1との境目には、天板1から垂下でき、かつ、天板1の片面に向けて折り畳み可能なように折り曲げ線25が入れている。また、脚部2の両端部には、折り曲げ線26が入れられ、折り畳み可能とされた係止片2a、2bが設けられており、それらの係止片2aにはマジックテープ23が、係止片2bにはマジックテープ23に整合するマジックテープ32が貼着されている。さらに、脚部2の中央部には、脚部2が天板1に整合して折り畳めるように切れ目27が設けられており、その切れ目27には補強テープ28が備えられている。また、係止体3と天板1との境目には、天板1から垂下でき、かつ、天板1と面一となるように伸展可能なように折り曲げ線33が入れている。また、係止体3には、係止片2aのマジックテープ23と整合する位置にマジックテープ32が貼着されている。また、係止片2bのマジックテープ32と整合する位置にマジックテープ23が貼着されている。さらに、係止体3の中央部には長孔形状の開口部(把持手段)31が設けられている。

【00015】次に、図2、図3、図4、図5を参照して、本発明のテーブルの組み立て方と折り畳み方を説明する。テーブルの組み立ては、先ず、図2の脚部2、2を天板1から直角に折り曲げて垂下し、それぞれの係止片2a、2bを内側に直角に折り曲げる。次に係止体3、3を天板1から直角に折り曲げて垂下し、脚部2、2と係止体3、3とをそれぞれのマジックテープ23と32とで係止することにより、図1のテーブルを組み立てることができる。このテーブルの折り畳み方は、上述の組み立て方を逆にたどることにより行われる。つまり、係止体3、3を天板1と面一に伸展する。次に、図4に示すように、脚部2、2の係止片2a、2bを伸展した後、天板1の裏側に折り畳む。さらに、天板1を二つに折り畳むことにより、図5に示すように、把持部(開口部)31を有する板状体とすることができる。この際、係止片2aのマジックテープ23と係止片2bのマジックテープ32とにより、図5に示す板状体の形状

を保ことができ、運搬や保管が容易にできる。

【00016】以上、本発明の実施例を図面により説明したが、本発明の具体的構成はこの実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更があっても本発明に含まれる。

【00017】例えば、天板や脚部や係止体を異なる素材で構成してもよい。つまり、天板は木板とし、脚部は合成樹脂で滑らかに形成し、係止体は金属線で形成してもよい。つまり、用途により、種々の素材を組み合わせることができる。

【00018】

【発明の効果】請求項1記載の発明のテーブルにおいては、専用テーブルの備えられていない椅子であっても、本発明のテーブルを安定して使用することができるので、野球観戦や観劇等に際して、弁当やお茶を安心して楽しむことができる。また、講演会等においても資料をテーブルの上に開くことができ、必要なメモを不自由なくとることができる。

【00019】また、請求項2記載の発明のテーブルにおいては、脚部を折り畳み、係止体を伸展することにより保管や運搬ができるので、必要に応じて簡単にテーブルを携帯できるし、保管のために大きなスペースを必要としない。また、係止体に把持手段が設けられている。従って、伸展した係止体の把持手段を利用して脚部を折り畳んだテーブルを容易に運搬することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のテーブルの斜視図である。

【図2】図1のテーブルの展開図である。

【図3】図1のテーブルの折り畳み方を説明するための斜視図である。

【図4】図3のテーブルをさらに折り畳んだ状態の斜視図である。

【図5】図1のテーブルを折り畳んだ状態の斜視図である。

【符号の説明】

1 天板

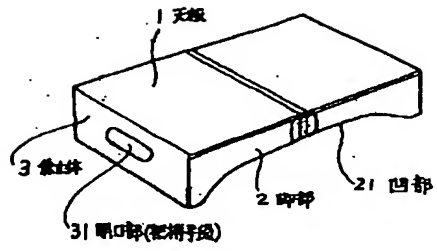
2 脚部

21 凹部

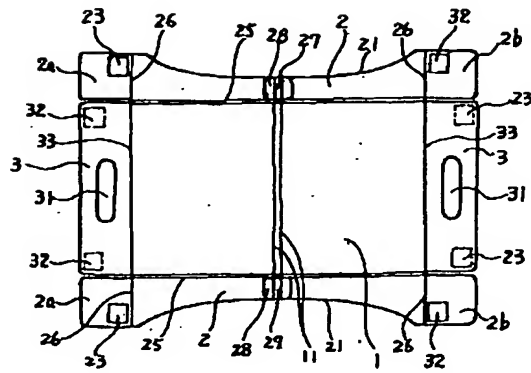
3 係止体

31 開口部(把持手段)

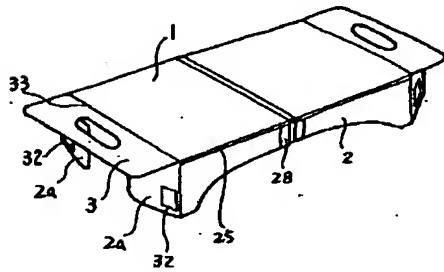
【図1】



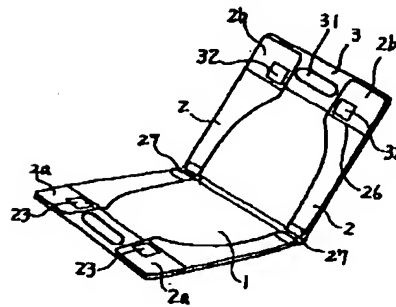
【図2】



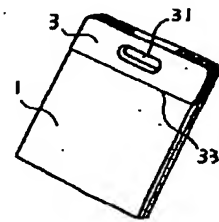
【図3】



【図4】



【図5】



DERWENT- 2002-031061
ACC-NO:

DERWENT- 200204
WEEK:

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Portable foldable table has recess in lower edge of each
plate-shaped leg, to place on thigh of user

PATENT-ASSIGNEE: TAKEUCHI K[TAKEI]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0159122 (April 21, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2001299456	A October 30, 2001	N/A	004	A47B 003/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2001299456A	N/A	2000JP-0159122	April 21, 2000

INT-CL (IPC): A47B003/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001299456A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The foldable table has plate-shaped legs (2) suspended from the top plate (1). A recess (21) is provided to the lower edge of each leg, so as to place on thigh of user.

USE - Portable foldable table used for taking lunch and tea in comfort while watching game like baseball and to place documents during lecture meeting.

ADVANTAGE - Because of the recess in leg, the table can be installed stably on thigh. Because of the folding nature, the table can be easily carried and assembled. Large storage space is avoided.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the perspective view of portable foldable table. (Drawing includes non-English language text).

Top plate 1

Plate-shaped leg 2

Recess 21

CHOSEN- Dwg.1/5
DRAWING: .

TITLE-TERMS: PORTABLE FOLD TABLE RECESS LOWER EDGE PLATE SHAPE LEG
PLACE THIGH USER

DERWENT-CLASS: P25

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-024316